

この紙のゴール：平叙・疑問・命令を伝え分け、時と場所を指す語を立ち位置に合わせて動かせる / 語群なし。自分の力で形を思い出して書きます。

I 場面に合うほうを○でかこもう。

知識・技能

各3点

(1) 友だちからの伝言を人に伝えて	He (said / told) me that he was late.
(2) 先生に聞かれたことを人に伝えて	She asked me (if / that) I had finished my report.
(3) 住んでいる場所をたずねられたことを伝えて	He asked me where (did I live / I lived).
(4) おばにすすめられたことを伝えて	My aunt (suggested / advised) me to read the book first.

2 対話を通じるように () に英語を書こう。

知識・技能

各2点

A: What did the teacher say after class?

B: She () me that my speech was a little too long.

A: Did she say anything else?

B: She () me if I had timed my speech, and later she () me to practice in front of a mirror.

3 自分のことを書こう。

思考・判断・表現

2点

家族が先生に言われたことを、英語I文で伝えよう（told か asked を使う）。

4 同じ tomorrow でも、いつ伝えるかで指す日が変わります。

思考・判断・表現

各2点

月曜に、絵美がこう言いました。

A Emi said, "I will call you tomorrow."

これを火曜に人へ伝えとー

B Emi said that she would call me today.

- ① Bで tomorrow が today になっている理由に近いのはどちらですか。記号で答えよう。 ア 間接話法では tomorrow を today に変える決まりがあるから イ 絵美の言った「明日」は火曜で、伝えているのも火曜だから
- ② 同じことを水曜に伝えるなら、today のところは何になりますか。英語I語で書き、そう考えた理由もI行で書こう。

解答

1		2	
(1)	told	(1)	told
(2)	if	(2)	asked
(3)	I lived	(3)	advised
(4)	advised		

3（解答例） My mother told me to clean my room before dinner.

4 ①は正答が1つ。②は一例で、趣旨が合っていれば表現は問いません

①	イ	置きかえの決まりではなく、伝えている自分の位置が決めている。
②	yesterday（理由の一例）「絵美の言った『明日』は火曜だから、水曜から見れば前の日になる。」	同じ発言でも、伝える日がずれば指す語は動く。the day before でも正解。ここを「表を覚えていない」と扱わず、 立ち位置で決める という考え方が書けているかで採点する。

採点のめやす

- ・大問1の正解は(1)told・(2)if・(3)I lived・(4)advised—4問を同じ考え方ひとつでは書けません。「話法の単元だから said」と当てにいった答えは(1)と(4)が落ちます。返却時は(1)を取り上げ、say は人を直後に置けないことに1分使ってください。
- ・大問1(2)は whether と書いた答案も正解です。that と書いた答案には、たずねた内容は「～ということ」ではなく「～かどうか」だと1行返してください。
- ・大問1(3)は発展版だけ空所が長くなります。I lived のほかに I was living と書いた答案も、住んでいた期間を意識したのなら正解にしかまいません。
- ・大問1(4)に suggested と書いた答案が出ます。意味は近いのですが、**suggest は〈人 + to 不定詞〉を取らないので形が壊れます**。suggested that I read the book first なら正解にしてください。
- ・大問2の語群は基礎版だけにあり、3語とも並びを空所の順とわざとずらしてあります（順番で当てられないように）。標準版・発展版は語群なしの記入式で、(3)に told と書いた答案も正解です（助言の色を出すなら advised だと1行添えてください）。(2)は if があるので ask しか入りません。
- ・大問3は間接話法の形（told / asked + 人 + to、または that 節）になっていれば内容は問いません。**to の落とし**（× told me clean）と**否定の位置**（not to）を見るところにしてください。発展版は2文で1つの解答です—2文目は感想なので、間接話法でなくてかまいません。
- ・大問4は暗記では答えられない問いです。①でアを選んだ答案には、では水曜に伝えたらどうなるかを問い返してください。②は yesterday か the day before が書けていて、理由に「伝える日から見て」という趣旨があれば正解です。
- ・帯ごとの扱い：学び直し帯は見取り図が命令の伝達と伝達動詞の選択まで届いていないので、大問1(4)と大問2(2)(3)を外して17点満点で扱ってください。大問4は時を指す語の話なので、この帯でもそのまま出せます。
- ・基礎固め帯は命令の伝達まで扱うので、大問1(4)と大問2(3)を外して19点満点です。
- ・実力帯・入試帯は24点満点で扱えます。入試帯では大問3の2文目まで人称がそろっているかを見てください。
- ・10分で最後まで届かないクラスは、大問3を宿題に回すか、大問4だけを次の時間の導入に使ってください。